

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月28日

上場会社名 株式会社しまむら

上場取引所 東

コード番号 8227 URL <http://www.shimamura.gr.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野中 正人

問合せ先責任者 (役職名) 企画室長 (氏名) 田中 直文

TEL 048-652-2131

四半期報告書提出予定日 平成25年7月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年2月21日～平成25年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	120,170	3.8	9,602	△7.3	10,137	△5.2	6,053	2.9
25年2月期第1四半期	115,729	11.6	10,355	34.0	10,688	34.9	5,883	58.0

(注)包括利益 26年2月期第1四半期 6,820百万円 (14.5%) 25年2月期第1四半期 5,955百万円 (64.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	164.62	—
25年2月期第1四半期	159.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	308,130	251,733	81.7	6,846.17
25年2月期	296,730	248,231	83.7	6,750.58

(参考)自己資本 26年2月期第1四半期 251,733百万円 25年2月期 248,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	68.00	—	82.00	150.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	75.00	—	75.00	150.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年2月21日～平成26年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	252,727	4.7	22,900	6.2	24,000	6.3	14,300	9.7	388.88
通期	520,000	5.9	51,000	12.0	52,500	10.2	31,300	13.7	851.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期1Q	36,913,299 株	25年2月期	36,913,299 株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	143,354 株	25年2月期	141,454 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期1Q	36,770,707 株	25年2月期1Q	36,775,723 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国の経済は、自民党政権が打ち出した成長戦略から大幅に金融が緩和されて為替は円安へ進み、輸出関連企業の業績は回復し、また、株価も上昇し国内経済と社会の先行きには期待感と明るさが見え始めてきました。

一方、円安により輸入原材料やエネルギーコストが上昇し、国内の製造業にとっては厳しい環境が続いているとともに、この先の成長戦略での不透明感や長引く欧州の債務問題等、景気減速リスクを孕んでいるものと思われま

1) 消費環境の概要

①雇用環境では、前年から引続き有効求人倍率や完全失業率に改善が見られ、また、所得環境も所定外労働時間や現金給与総額、勤労者世帯の可処分所得がこの3、4月を境に増加に変わりつつあり、改善が見られようになりました。

一方、消費環境は回復基調にあるものの、その動きは高額品を中心とした一部に限定され、全体的なものには至っておらず、生活必需品の一部が値上がりし始める状況の中、給与所得が伸び始めるまでのタイムラグが消費マインドを厳しくさせており、消費関連業界では引続き競争が激しくなっております。

②衣料品の消費に影響を及ぼす天候は、3月の高気温により春物が一斉に動きましたが、4月中旬からゴールデンウィークにかけての異常な低温で初夏物や夏物の動きが止まり、衣料品業界にとっては振れ幅の大きい天候となりました。

2) 当社グループの状況

このような消費環境のもと、当社グループは持続的な成長を目指して“商品力と販売力の格上げ”を当期の統一テーマとし、店舗のブランド化に磨きをかけるため、商品力と販売力の進化に注力して、業績の向上に努めてまいりました。

3) 主力のしまむら事業

①店舗をヤング型、ミセス型、標準型に分類し、地域特性に合わせた品揃えを進めるとともに、都市部狭小店舗については、陳列器具の変更に合わせて商品ラインを拡大するなど、既存店の売上シェアの拡大に努めました。広告宣伝では、従来から力を入れているティーンズヤングに加え、定期的にシルバー・ハイミセス中心としたチラシを打ち出すなど、既存店における客層の拡大に努めました。

②当第1四半期連結累計期間は5店舗の開設と1店舗の閉店を行い、引続き都市部への店舗開発に力を入れ、5店舗すべてが東京・神奈川・大阪などの都市部への出店となりました。

さらに14店舗で大規模な改装を実施した結果、しまむら事業での店舗数は1,278店舗となり、売上高は前年同期比3.3%増の965億6百万円となりました。

4) アベイル事業

若者向けの感度の高いファッションを扱うアベイル事業は、商品のパターンの完成度を上げ、さらに感度を高めるとともに、広告宣伝ではしまむら事業と同様に“東京ガールズコレクション”への参加で認知度の向上と客層の拡大に努めました。当第1四半期連結累計期間は1店舗の開設と1店舗での大規模改装を実施した結果、店舗数は272店舗となり、売上高は前年同期比0.2%減の132億1百万円となりました。

5) バースデイ事業

ベビー・子供用品を扱うバースデイ事業は、引続きブランド化とオリジナル化を進めると共にジュニアサイズの取扱いによる客層の拡大を図りました。また、広告宣伝では従来の新聞折込の方法に加え、無料チラシ閲覧サイトにチラシを掲載し、集客力の向上に努めました。当第1四半期連結累計期間は3店舗を開設した結果、店舗数は142店舗となり、売上高は前年同期比16.1%増の67億79百万円となりました。

6) シャンブル事業

女性のファッション雑貨を扱うシャンブル事業は、引続き婦人アウターのエイジでの部門分けにより品揃えの充実を図り、広告宣伝ではチラシと雑誌及び店内販促物を連動させた打ち出しを強化し、集客力の向上に努めました。当第1四半期連結累計期間は1店舗の閉店と1店舗での大規模改装を実施した結果、店舗数は74店舗となりましたが、売上高は前年同期比8.6%増の26億39百万円となりました。

7) ディバロ事業

10～20代の女性を主たる顧客層としたカジュアル・シューズを専門に扱うディバロ事業は、当第1四半期連結累計期間の出店は無く、1店舗での大規模な改装を実施した結果、既存14店舗での営業で売上高は前年同期比24.4%増の1億80百万円となりました。

8) 以上の結果、当第1四半期連結累計期間の日本国内の業績は、売上高1,193億8百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益97億23百万円(同6.3%減)、経常利益102億57百万円(同4.3%減)、四半期純利益は61億73百万円(同4.9%増)となりました。

9) 海外事業

台湾で事業展開する思夢樂は、中国からの輸入規制緩和が進み、トレンド商品の拡大による業績向上に努めました。当第1四半期連結累計期間は1店舗の開業と1店舗での大規模改装を実施した結果、店舗数は36店舗となり、売上高は前年同期比0.8%減(NT\$ベース)の2億40百万NT\$(8億24百万円)となりました。

中国で事業展開する飾夢樂は、当第1四半期連結累計期間の出店は無く、既存2店舗の営業で、売上高は2百万円(37百万円)となりました。

10) 以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,201億70百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益96億2百万円(同7.3%減)、経常利益101億37百万円(同5.2%減)、四半期純利益は60億53百万円(同2.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ、113億99百万円増加し3,081億30百万円となりました。これは主として、商品の増加102億92百万円、その他の流動資産の増加36億65百万円、売掛金の増加19億16百万円、現金及び預金の減少46億41百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ78億97百万円増加し563億97百万円となりました。これは主として、買掛金の増加130億10百万円、賞与引当金の増加19億46百万円、未払法人税等の減少63億45百万円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ35億2百万円増加し2,517億33百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加27億56百万円、その他有価証券評価差額金の増加5億91百万円等によるものです。

2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動及び新規出店等による投資活動、ならびに財務活動を行った結果、前年同四半期連結累計期間末に比べ288億42百万円減少し212億53百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ323億60百万円減少し、13億46百万円となりました。これは、たな卸資産の増加額102億29百万円等に対し、仕入債務の増加129億77百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ86億71百万円減少し、195億21百万円となりました。これは、差入保証金の回収による収入9億71百万円に対し、有価証券の取得による支出180億円、有形固定資産の取得による支出21億84百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ16億39百万円減少し、49億89百万円となりました。これは、配当金の支払額29億68百万円、長期借入金の返済による支出20億円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年4月1日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,095	25,453
売掛金	1,933	3,850
有価証券	75,008	75,008
商品	31,868	42,160
その他	6,462	10,127
流動資産合計	145,367	156,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	66,269	66,566
土地	34,530	35,401
その他(純額)	3,420	3,257
有形固定資産合計	104,220	105,224
無形固定資産		
のれん	373	298
その他	1,109	1,109
無形固定資産合計	1,483	1,408
投資その他の資産		
差入保証金	33,592	33,335
その他	12,249	11,744
貸倒引当金	△182	△182
投資その他の資産合計	45,659	44,897
固定資産合計	151,363	151,530
資産合計	296,730	308,130
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,497	28,507
1年内返済予定の長期借入金	2,000	—
未払法人税等	10,467	4,121
賞与引当金	1,860	3,807
役員賞与引当金	64	16
その他	8,735	9,979
流動負債合計	38,625	46,432
固定負債		
長期借入金	5,800	5,800
退職給付引当金	1,267	1,284
定時社員退職功労引当金	742	733
役員退職慰労引当金	525	589
資産除去債務	1,420	1,433
その他	117	123
固定負債合計	9,873	9,964
負債合計	48,499	56,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,086	17,086
資本剰余金	18,637	18,637
利益剰余金	213,172	215,928
自己株式	△1,151	△1,173
株主資本合計	247,744	250,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	542	1,134
為替換算調整勘定	△55	119
その他の包括利益累計額合計	486	1,253
純資産合計	248,231	251,733
負債純資産合計	296,730	308,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年5月20日)
売上高	115,729	120,170
売上原価	77,551	80,832
売上総利益	38,177	39,337
営業収入	233	240
営業総利益	38,410	39,577
販売費及び一般管理費	28,055	29,974
営業利益	10,355	9,602
営業外収益		
受取利息	152	153
受取配当金	4	35
投資有価証券売却益	31	6
為替差益	—	189
配送センター収入	94	82
雑収入	104	83
営業外収益合計	388	550
営業外費用		
支払利息	18	11
貸倒引当金繰入額	9	0
為替差損	23	—
雑損失	4	3
営業外費用合計	55	16
経常利益	10,688	10,137
特別利益		
受取補償金	51	—
収用補償金	5	1
特別利益合計	56	1
特別損失		
固定資産除売却損	75	100
減損損失	7	—
災害による損失	11	0
投資有価証券評価損	389	—
その他	4	—
特別損失合計	487	100
税金等調整前四半期純利益	10,257	10,037
法人税等	4,373	3,984
少数株主損益調整前四半期純利益	5,883	6,053
四半期純利益	5,883	6,053

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,883	6,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	591
為替換算調整勘定	8	174
その他の包括利益合計	71	766
四半期包括利益	5,955	6,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,955	6,820
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,257	10,037
減価償却費	1,209	1,228
減損損失	7	—
のれん償却額	74	74
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,787	1,946
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△56	△48
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18	14
定時社員退職功労引当金の増減額(△は減少)	19	△8
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△15	63
受取利息及び受取配当金	△157	△189
支払利息	18	11
為替差損益(△は益)	14	△187
固定資産除売却損益(△は益)	23	38
投資有価証券評価損益(△は益)	389	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,639	△1,916
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,930	△10,229
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,074	△3,593
仕入債務の増減額(△は減少)	44,987	12,977
その他の流動負債の増減額(△は減少)	999	1,221
その他	55	26
小計	43,996	11,468
利息及び配当金の受取額	24	56
利息の支払額	△41	△22
法人税等の支払額	△10,273	△10,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,706	1,346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	308
有価証券の取得による支出	△27,000	△18,000
有形固定資産の取得による支出	△1,441	△2,184
差入保証金の差入による支出	△794	△611
差入保証金の回収による収入	978	971
その他	64	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,192	△19,521
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△4,000	△2,000
自己株式の取得による支出	△18	△21
配当金の支払額	△2,611	△2,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,629	△4,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,116	△23,114
現金及び現金同等物の期首残高	51,211	44,095
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	272
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,095	21,253

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。